

進路通信

第2号 令和6年6月11日

東京都立武蔵台学園

校長 金子 猛

進路指導部



日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

高等部は5月11日、小中学部は5月25日に体育発表会を終え、通常授業に戻り始めています。

高等部では、3年生が進路を「決める」現場実習がスタート、そして2年生は「体験する」現場実習に向けて準備が始まりました。

御家庭でも、毎日の挨拶「おはよう」「おやすみなさい」などコミュニケーション、お手伝いの中で、分かったら「はい」、困った時は「教えてください」など、また自分の気持ちを伝えられるよう、日々の積み重ねを大事にしながら、よりよい実習となるよう御家庭と学校が連携して取り組んでいきたいと思っておりますので、御協力の程よろしく申し上げます。

小学部・中学部もこれから、見学や体験がすすんでいきます。高等部の取組も小学部・中学部段階からの積み重ねがとても大事になってきます。今回は高等部中心ですが、ぜひ参考にしてください。

高3 福祉課訪問実施報告



高等部3年生は、4月26日に福祉課訪問を行いました。自分の住んでいる市の福祉課の場所を知ることや福祉課のはたらきや担当のケースワーカーを知ることがねらいです。

当日は、生徒本人と保護者が参加し、福祉課の方から福祉課で行っている業務の説明や卒業後に利用する福祉サービスについてのお話がありました。

福祉サービスは18歳以上になると成人になるため利用する手続きが変わり、居宅介護（ホームヘルプ）や短期入所（ショートステイ）などを利用する場合は、障害支援区分の認定調査を行います。児童から短期入所を利用している方は担当ケースワーカーから誕生日の2～3か月前に御家庭に連絡が入るとのことでした。

生徒たちは『職業』の授業で事前・事後学習を行いました。自分の住んでいる市を確認したり、自己紹介の練習をしたりしました。卒業後、困った時には地域のケースワーカーさんに相談しに行って良いことなどを学習しました。

地域で豊かな生活を送るためには、福祉サービスを上手に利用していく事が大切です。どうしたら良いのか分からない・・・そんなときは、まずは聞いてみるとアドバイスを貰えることも多いです。

【各市の福祉課名】 市町村によって福祉課の名称は様々です。武蔵台学園学区の各福祉課の名称を御紹介します。

- ・府中市 福祉保健部障害者福祉課
- ・国分寺市 福祉保健部障害福祉課
- ・国立市 保健福祉部しょうがいしゃ支援課
- ・立川市 福祉保健部障害福祉課





高2 現場実習説明会を行いました

高等部2年生の保護者を対象に、現場実習に向けての説明会を行いました。現場実習のねらいや日程の確認、進め方などについて話しました。全体で話をした後、福祉と企業の希望に分かれて、質疑応答などを行いました。

2年生では、1人2回の現場実習を予定しています。1年生で行った短期就業体験を合わせて、様々な事業所で実習を行えるようにと考えています。

実習終了後は、各事業所に記入してもらう評価表をもとに、進路面談を行い、次の実習や3年生の実習に向けての話し合いを進めていきます。

同じ事業形態（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練等）でも、事業所によって取り組んでいる内容は様々です。まずは近くの事業所などから見学してみることや高等部になると事業所から夏休みや冬休みに体験会などの案内も届くので、参加していただき、地域の情報を収集してください。

進路指導の手引きについて

5月上旬に、進路指導の手引き・施設紹介資料を各御家庭に配布しました。前半の手引きの部分では、各学部の進路への取組や進路先が決まるまでの流れなどが載っています。

後半の施設紹介については、学区内の事業所からの情報を掲載しています。ぜひ、参考にしてください。

※追加の情報です。（府中市内に新しくできた事業所です）



事業所名	事業種別	事業所の方針・特徴
作業所TOTTO (合同会社マルケ)	就労継続支援B型	2024年5月1日 新規にオープンしました。 ◇大切にしたいこと◇ 受容・共感・自己決定 一人ひとりの個性、違いをまずは認め合う。そこからスタートできれば皆もっと生きやすくなるかもしれません。 お互いが気持ちよく過ごすためのルールは必要ですが、その人らしさを最大限に発揮できる、自分が自分でいられる、そんな作業所を目指します。
所在地・電話番号 〒183-0015 府中市清水が丘 3-26-18 多磨霊園駅南口より徒歩30秒 042-370-1577	代表者・実習担当者 代表 佐藤顕仁	*ご本人の希望を大事に、来所・退所時間も柔軟に対応します。 (1日1時間から最長17時まで利用可能)
作業内容	個別の事業所見学	その他(空き状況・他市受入・1日の流れ・行事・昼食など)
ボールペンの組立 チラシ折りなど 作業内容は 順次拡大予定	学校を通してご連絡ください。	定員：20名／利用者：募集中 新規利用見込み：空きあり 他市生徒受入：あり 1日の流れ：登所 10:00 作業開始 10:15 昼食 12:00 ~ 13:00 退所 17:00 昼食：ご自身でご用意ください。 行事：検討中 送迎：なし

高2 現場実習が始まります



高等部3年生はすでに現場実習が始まっており、卒業後の進路を「決める」ことを目標に頑張っているところです。そして、いよいよ高等部2年生も初めての現場実習が始まります。

高等部1年生で行った就業体験とは違い、一人で慣れない環境に飛び込み、3～5日間実習します。今まで味わったことのない緊張感をもって挑戦することになります。実際に働く経験をすることで、「働く」ということのイメージを具体化し、自分に適しているかどうかを判断する機会になります。あこがれていた職種であっても実際に体験したことで、思い描いていたものとは違ったと感じたり、自信がない職種に挑戦したところ、面白さを発見したり、と様々な見方、感じ方ができることは、これからの進路選択をしていく上で、とても大切な材料になります。

御家庭でもぜひ、実習での様子など話題にさせていただき、一緒に将来について考える時間を作っていただけると幸いです。また、実習期間中はとても緊張して1日を過ごして帰宅します。「我が家は心身ともに安らぐ場所」と位置付けていただきたいと思います。

高等部進路決定までの流れ



高等部進学後の進路決定までの流れと目的について記載しましたので、参考にしてください。

高1

興味や関心を高める進路学習・就業体験（知る）

▶ 自己の将来についてや自分の興味や関心を高めることを目的として、進路見学や校内実習、短期就業体験を実施します。

▶ 進路見学（1学期、2学期）、校内実習（2学期）、短期就業体験（2学期、3学期）

高2

体験を広げる現場実習（選ぶ）

▶ 自分にとって適正がある職種か、できそうな職種かなど、実際に体験した上で将来を考える機会とすることを目的として、現場実習を実施します。

▶ 現場実習（1学期）、現場実習（2学期、3学期）

高3

進路決定に向けた現場実習（決める）

▶ 具体的な職場や施設を絞り込み、評価をもとに進路を決定し、進路先で必要な能力や適性について、事業所や企業と共有することを目的として、現場実習を実施します。

▶ 現場実習（1学期）、現場実習（2学期、3学期）